

地域で暮らし続けるための小規模ホーム！

住民同士が支え合う「さざんか」

三条町にある「ふれあいの家・さざんか」は、地元で暮らす高齢者が集い、介護予防をしながらおしゃべりを楽しむ場として、平成10年6月に開設されました。毎回、6～7人の利用があり、13人のボランティアで運営されています。

近くにある千葉クリニックの訪問介護ステーションから、看護師が無料で血圧測定に来てくださり、先生も昼食がてら皆さんの様子をチェックしに訪れます。それが、集う人々の安心につながっています。

皆さん、ニコニコと笑顔で寛いでおられたのが印象的でした。一人暮らしや、昼間家族が仕事に行き一人で過ごされる方などの参加が多いそうです。希望すれば、車での送迎もあります（送迎代300円）。家賃とガソリン代は、仙台市の助成を受けて運営しています。

代表の大鷹三代子さんは、「13年目となり、ボランティアも年をとって介護される側に近くなりました」と笑います。ボランティ



▲利用料は1日800円
（昼食・おやつを含む）



▲看護師による血圧測定

アのお一人が、「ここに来ると、自分も元気をもらえる。自分のためにやっています」と話されていたことが、「さざんか」の居心地の良さを物語っています。

ふれあいの家・さざんか
仙台市青葉区三条町13-11
TEL:022-275-1661

地域に根ざした多面的な活動「国見の家」

社会福祉法人東北福祉会「せんだんの杜」では、特別養護老人ホームだけでなく、地域のなかで介護などの事業を行っています。これは、住み慣れた地域のなかで、これまでの生活に近い暮らしができるようサポー

トするもの。その一つが、千代田町にある「国見の家」です。千代田町にあるのに「国見の家」なのは、以前あった国見2丁目から引っ越してきたから。現在は、民家を利用して、高齢者のデイサービスや宿泊サービス、ホームヘルプ、託児などを行っています。

平日の日中におじゃますると、介護保険でのデイサービス利用者にまじって、託児の1歳6か月の男の子が元気に遊んでいました。利用者の皆さんは、自分の孫を見るように、男の子の動きを目で追います。まどろみの中にいた男性は、男の子が近寄るとしっかりと目を開き、ごっこ遊びにつきあってくれていました。

職員の鈴木智恵さんは、「さまざまな年代が一つの空間にいるというのは、いろいろな可能性を持つことだと思います」と話してくれました。

今後は、さらに地域とのつながりを強めていくつもりとのこと。介護や保育など福祉に関することで気になることがあったら、連絡してみてもいいでしょうか。

国見の家
仙台市青葉区千代田町4-16
TEL:022-727-8830



集いの場&支え合いの拠点
「ひなたぼっこ」だより

TEL:022-301-8820
<http://www.clc-japan.com/hinatabokko/>

地域食堂（毎週水曜日）と居酒屋（第3金曜日）の定期開催のほか、5月は青根温泉への旅行、6月はマージャン教室を開催しました。また、6月28日（月）に開いた「ひなたぼっこ」の第3回運営推進委員会で、地域の皆さんからいただいたご意見をもとに、今後のひなたぼっこの活動について次のように考えています。

- 地域食堂や居酒屋へのお客さまは増えてきましたが、曜日により都合が悪いなどのご意見もあり、地域食堂（毎週水曜日）を週2回に、居酒屋（月1回）を月2回に増やします。
- 地域食堂や居酒屋の広報が十分ではないため、今後、地域包括支援センターなどでも「みんなのわ」を設置していただくなど、設置場所を増やします。
- 一人暮らしの高齢者等への家事支援、便利屋の開始に向けて検討します。
- 子どもの利用が少ないため、夏休み中に子ども向けのイベントを開催します。
- 子育てサロンが近辺にないため、子育てサロンの開催を検討します。
- 18時以降の学童保育のニーズがあり、18時～20時の時間帯で、小学校6年生までを対象に検討を始めます。



▲ボランティアさんからの差し入れの大葉で、シソ巻きに！
月3回開かれている民謡教室

◆ボランティア募集

ひなたぼっこのイベントの企画・運営、調理などのお手伝いをいただける方を募集中です。ちょっとした空き時間、少しお手伝い&遊びにいらっしやいませんか？

◆職員募集

ひなたぼっこの運営及び介護保険事業の立ち上げスタッフを募集しています。詳細はスタッフまでお問い合わせください。

期間：平成22年7月～平成23年3月末日
（期間延長あり）

資格：介護福祉士またはホームヘルパー1級

イラスト
by みゆき



地域ぐるみの子育てを応援する場
「八幡みんなの家」だより

TEL:022-738-8773
<http://www.clc-japan.com/minnanoiie/>

6月24日（木）に、八幡みんなの家「会員のつどい」として、文化横町の洋食のお店で、ランチ会が行われました。オムライスの上にハヤシライスの具をプラスした「オムハヤシ」を食べてきました。ボリューム満点でたいへん美味しくいただきました。

7月2日（金）には、「八幡みんなの家」の2階において、「賢く貯めよう子ども手当」と題する勉強会が開かれました。ファイナンシャルプランナーの北川英之さん（アリコジャパン）を講師に招き、「子ども手当」の有効な活用法についての説明を受けました。

北川さんの事例に基づいた身近な話を通して、2～3歳前後のお子さんをもつ若いお母さん達は、それまでもっていた「学資保険」に対する認識を新たにしたり、いつ・誰のためにいくら必要になるのかをよく考え、短期・中期・後期の計画に応じたさまざまな商品の中から、単一化せずに、使い道によって金銭も複分化して貯蓄することの大切さを学んだようです。

また、当日は仙台放送が取材に来て、カメラの前での勉強会となりましたが、いつもと変わらぬリラックスした雰囲気のなか、貴重な時間を体験できたのではないかと思います。



▲ファイナンシャルプランナーの北川さんのお話を、真剣にメモ



ママたちが勉強している間は、八幡みんなの家のスタッフが託児中



千代田町町内会 会長 二階堂 軍治さん

二階堂軍治さんは、昭和50年に千代田町に居を構え、長年務めた教職を平成10年に退職後は、囲碁・麻雀・テニス・弓道・表具などの趣味を楽しまれています。また、地域の活動に携わり、平成21年4月、千代田町町内会の会長に就任。平成22年4月には、国見連合町内会の副会長・体育振興会の副会長に就任され、精力的に地域活動に励んでおられます。

千代田町の課題は、「一人暮らしの家庭の関心を、いかに外へ向け

ることができるか」「孤独死を出さないためにはどうしたら良いか」だと語ります。

モットーは、地域の一人ひとりと、家族のように接すること。情報を漏れのないように、一人ひとりに知らせ、まめに会報を出すこと。そのためには掲示板が重要であり、会報も中身の充実に気を配ります。

また、二階堂さんは、「ボランティア活動は、本人が楽しみながらやらなくてはならない」と語ります。10年ほど一人暮らしの家庭の雪かきを手伝っていますが、それご自身の健康のために、楽しみながらしているそうです。

千代田町町内盆踊り大会

8月7日(土)10:00~21:00

8月8日(日)18:00~21:30

会場: 東北福祉大学構内 駐車場

子どもと楽しむ★ボランティアサークル

11月に「国見天使祭」を開催！

ボランティアサークル「天使村」は、東北福祉大学の学生150人以上が所属している、学内最大のボランティアサークルです。昭和55年から、児童養護施設で生活する子どもたちの支援を目的に、活動を始めました。

現在は活動の幅が広がり、「児童養護施設」「親子遊び&児童館」「保育所&児童館」「乳児院」「中山の家（しょうがいのある子どもの放課後の支援）」の5つの班に分かれて活動しているほか、相談に応じて1日だけのボランティア活動も行っています。

また、サークル全体での活動として、7月に「天使祭」を中山とびの公園で、11月に「国見天使祭」を国見小学校で開催しています。今年の天使祭は、7月4日（日）に開催され、シャボン玉遊びやスライム作り、プラバン作り、フリスビー、輪投げ、ハンドマッサージ&マニキュア体験などのコーナーが設置され、幼児から小・中学生まで楽しんでいました。11月20日（土）の「国見天使祭」もどうぞお楽しみに！

（開催が間近になりましたら紙面でお知らせします）



▲7月4日の「国見天使祭」の様子

「天使祭」で、手づくりのおもちゃで遊ぶ



▲中国旅行の際に購入した書でつくった、趣味の表具と一緒に。寿の文字の中に、書体の違う寿が100字描かれた書は、非常におめでたいものだそうです。

取材時、庭先に落ちていたためじろの雛を保護し、籠に入れて庭の木に下げ、親鳥がいつでも餌を運べるように遠くから見守っていました。愛情に満ちた人柄が滲み出ていました。



伊勢神明社の由来



宮城郡荒巻村（現新巻神明町）にあった神明社（伊勢神宮の分社）を、伊達政宗が1621年にこの地に移し、地域を伊勢堂と名づけました。4代綱村が社殿を拡張した後は、藩主継承時に参詣することを常としました。1872（明治5）年に現西公園に遷し、「櫻岡大神宮」と改称しましたが、伊勢堂山には小社が残り、1958（昭和33）年に「伊勢神明社」として再興されました。

仙台算学の大家、青木長由（あおきながゆき）は、日食月食の観測にたびたびこの伊勢堂山を訪れたといわれています。

参道入り口、向かって右に聖徳太子像、左に延命地蔵があります。昭和58年に地域有志が修復し、ここに安置したそうです。

EVENT CALENDAR

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集える場所。

子育ての息抜きに、ご近所さんの知恵を借りに、ちょっと立ち寄ってみませんか？

お申し込み先

だがし&休み処「八幡みんなの家」
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1丁目2-7
TEL:022-738-8773

◆七夕見学&文化横町でのランチ会 (会員のつどい)

日時:8月6日(金)10:30~14:30
参加費:1,000円
仙台七夕を見物しながら、文化横町のお寿司屋さんでランチを楽しみます♪(納豆巻きを追加の方はプラス200円)

◆ミニ夏祭り

日時:8月20日(金) 15:00~16:30
八幡みんなの家にて、水ヨーヨー、スイカ割りなど、盛りだくさん!お楽しみに!

◆ワイワイクッキング

日時:8月23日(火)10:30~12:00
参加費:1,000円
天然酵母を使ったピタパン(ポケットパン)を作ります。



◆ベビーマッサージ

日時:8月27日(金)10:30~11:30
参加費:700円
専用のオイルを使って、親子でスキンシップはいかがでしょう?

◆ヨガ教室 毎月第1・3木曜日

日時:8月5日、19日 10:30~11:30
参加費:800円(託児料は別途400円)
小さなお子さま連れの方も、ご年配の方も、身体を動かしてリフレッシュしませんか?(都合により、日程の変更もあります)

◆パステルアート教室 毎月第2・4火曜日

日時:8月10日、24日 10:30~11:30
参加費:画材・飲み物付1,200円
(託児は別途400円)
パステルチョークを削り、手でこすって描きます。
絵が苦手な方もぜひお試しを♪



お申し込み先

国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」
〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13
TEL:022-301-8820

◆老い支度講座(認知症講座)

日時:8月7日(土) 13:30~15:30
会場:貝ヶ森市民センター
参加費:500円
書き込み式ノートを使って、認知症になっても自分らしく暮らせるように、自分の老いに向けた準備をしましょう。

◆マジックショー&納涼会

日時:8月20日(金)
16:00~16:30 マジックショー
17:00~20:00 納涼会(ビヤガーデン)
ほかにも期日は未定ですが、子ども向けに夏休みの企画を検討中(2回ほど)。アイデア募集中です!



◆地域食堂 毎週水曜日

日時:8月4日、11日、18日、25日
12:00~14:00
昼食代:500円(要予約)
季節の家庭料理を楽しみながら、地域の人たちと一緒にランチタイムを過ごしませんか?



◆居酒屋

日時:8月20日(金) 17:00~20:00
今回は納涼会。アルコールはもちろん、おつまみから軽食まで幅広いメニューです。お子さま連れも大歓迎。

まちのイベント

◆国見祭

日時:7月31日(土)・8月1日(日)
会場:国見小学校

◆認知症予防教室

日時:8月7日(土)
会場:長生園 参加費無料



イベントや講座の開催、サークルの仲間募集などの情報をお寄せください【無料掲載】



発行元の「全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)」は、誰もが地域でその人らしく暮らし続けられる地域づくりを目指して、福祉に関する研修、研究、出版、団体支援などを行っているNPO(特定非営利活動)法人です。

印刷:萩の郷福祉工場